

## フォレックスロボティクス

# 鳥獣捕獲、スマホで報告

## 獵師の事務負担軽減へ

ソフトウェア開発のForex Robotics（フォレックスロボティクス、千葉県船橋市、高橋一行社長）は2日までに、獵師の事務作業を支援するアプリ「いのしかレコード」の提供を本県で始めた。画面で提出していた有害鳥獣捕獲時の報告書をスマートフォンで行うことができ、獵師の負担軽減につなげる。現在は3市で試験提供されており、さらなる普及拡大を目指す。

## 県内3市へ試験提供

獵師はイノシシやシカなどの有害鳥獣を捕獲した際、捕獲場所の位置情報などを記録し、写真とともに市町に報告する必要がある。従来は地図から捕獲場所を割り出し、写真を自己負担で現像するなど、煩雑な事務作業が課題だった。

「いのしかレコード」はアプリの指示に従って必要な事項を記載し、スマホのカメラで捕獲鳥獣を撮影して送信することで、自治体への申請が完了する。衛星利用測位システム（GPS）を使うため、電波の届かない山奥でも正確な位置情報を取得できる。獵師の高齢

7月からアプリを使い始めた那須塩原市、君島康彦さん（62）は「操作に戸惑うこともあつたがすぐに慣れた。写真を現像したり手

書きで記入したりする手間がなくなり、事務負担が9割減った」と喜ぶ。同市では9月上旬時点で15人の獵師が活用中で、市は今後もスマートに操作できるよう設計を工夫した。

同社は、県が実施した農林業とITのマッチング事業で有害鳥獣捕獲事業の申請を巡る課題を知り、開発に着手した。2022年5月には那須塩原市内にサービスを開設。24年度から那須塩原、大田原、足利の3市で試験的にサービスを展開している。



同社は今後、希望する自治体と契約を結んで本格的にサービス提供を始める。高橋社長は「自社の技術を農林業分野で生かしたいと考えていた。獵師の負担軽減に役立つよう、利用を広げたい」と話した。

7月に本県などを管轄する横浜税関長に就任した山崎翼氏（57）は、適正かつ公平な関税の徴収や貿易の円滑化などを通じて「地元経済に貢献していく」と抱負を語る。事業者としっかりコ

**ロソク  
トトタ**

工業団地には輸出入関連企業が立地し、保税倉庫も多い。「輸出入の貨物の画面

## 販路拡大へ益子焼PR

町が渋谷で初イベント



益子町が開いた益子焼に関するビジネスマッチングイベント=2日午後、東京都渋谷区

## 輸出入迅速に対応

**横浜税関 山崎翼 税関長**

財務省で予算編成を担当する主計局や税關局に長く勤務し、税關局では出先機関も含めて10年以上



新たに輸出に取り組もうと考えている事業者に対しては、「遠慮なく事務所に来て相談してほしい」と呼びかける。

益子町は2日、東京・渋谷の会員制共創施設「SHIBUYA QWS（渋谷キユーズ）」で、益子焼事業者と他業種のビジネスマッチングイベントを初めて

などとPRした。

会場には12窯元の陶器や資料も展示し、参加者は実際に触れながら事業者の説明に耳を傾けた。インバウンド（訪日客）集客支援な